

## 小学校6年「角柱と円柱」における KB・スマートボード活用事例



かすみがうら市立志筑小学校 及川 慶

## 活用のポイント(Kneading Board)

- グループで探求した結果をリアルタイムで書き込むことにより、クラス全体で共有したり分類したりすることができる。
- 文字を介して自分の意見を伝えたりアドバイスし合ったりすることにより、自分の意見を整理して相手に伝える力を育てることができる。
- 話すことが得意でない児童も積極的に意見交換することができる。

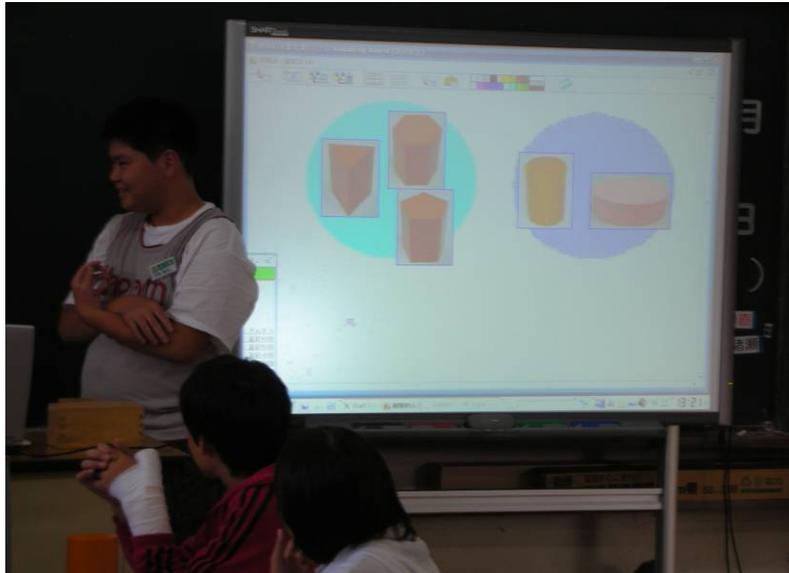
## 活用のポイント(Smart Board)

- PCの画面操作をボード上で行うことができるため、全体の前で児童自身が操作活動を行うことができる。
- 必要に応じてその場で画面に書き込みを行うことができるため、児童の考えを生かした教材の提示ができる。

## 実践の流れ

- ①5つの図形を，角柱と円柱に分類する。
- ②用語「角柱」「底面」「側面」を知る。
- ③角柱に共通な性質をグループごとに話し合い，  
KBシート上に自由に書き込む。
- ④シート上に出された意見を全体で話し合いながら  
分類し，特徴をまとめる。
- ⑤角柱の特徴について知る。

## 学習の様子

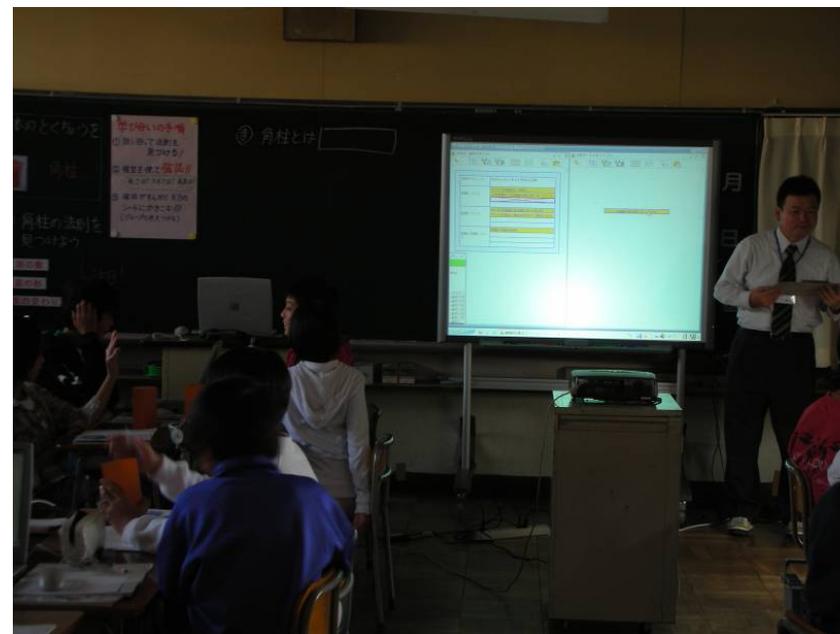
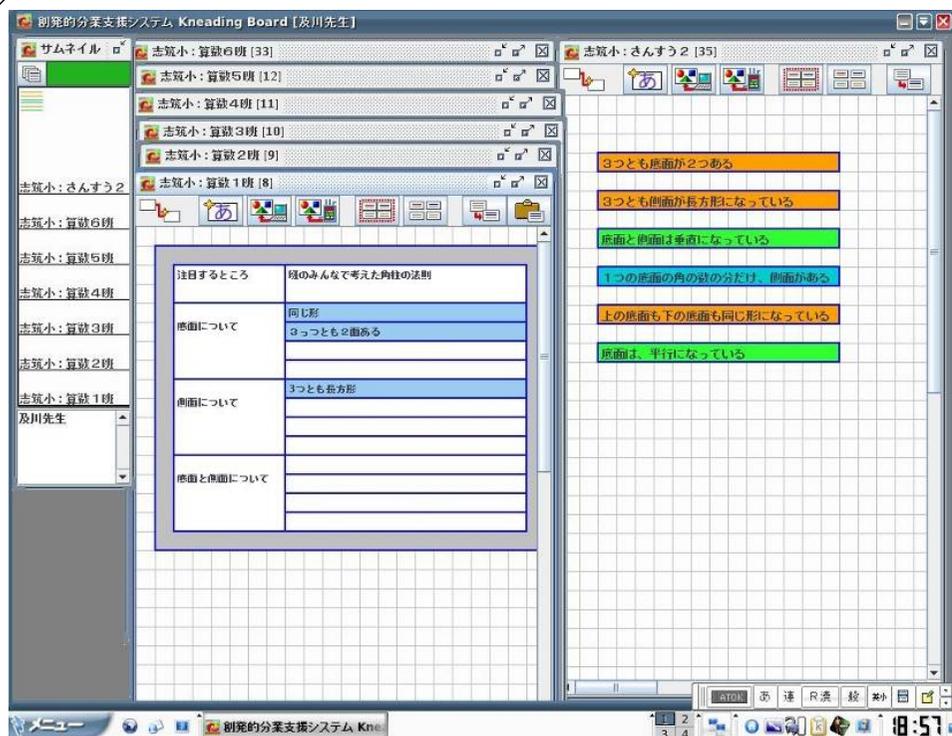


- まず、5つの立体を、スマートボード上で児童に操作させ、角柱と円柱とに分類させた。(左図)
- 次に、その図をそのまま利用して、「角柱」「底面」「側面」などの名称をその場で書き込んだ。(右図)

注目するところ	班のみんなで考えた角柱の法則
底面について	3つとも底面が2つある
	上の底面も下の底面も同じ形になっている
側面について	3つとも側面が長方形になっている
	3つとも頂点と頂点を結ぶと三角形になる
底面と側面について	側面と底面が直角に



- ・グループに1台ずつPCを用意し, KBシートも各1枚ずつ与えて, 角柱に共通する性質を表に書き込ませた。(左図)
- ・立体模型もグループごとに用意し, 実物を見て確かめる作業を重視した。(右図)



- スマートボード上には、左側に各班のシートを重ね合わせて配置し、多くの班から出された共通の性質をコピーして右側のスペースに貼り付けて分類した。

## 成 果

- PCを使うことにより、児童の、説明を文章で表現しようとする意欲が高まった。
- 各グループの意見がリアルタイムで見られることで、それを参考にしてよりよい観点から物事を考えようとしたり、表現を工夫しようとしたりする姿勢が見られるようになった。
- スマートボード上でのコピー・貼り付けによる分類は、視覚的にインパクトが大きく、また板書の手間を省くことができた。
- 各班のシートがデータとして残されるため、振り返りが容易で、次時以降の学習をスムーズに行うことができた。

## 今後の課題・問題点

- 操作に慣れない児童も多く見られた。繰り返し使用していくことで操作に習熟させたい。
- シートが多すぎると煩雑になりがちで、操作の習熟が必要である。1つのシートに各班が書き込むやり方のほうも試してみたい。
- 参観者からは、文字が小さく、見づらいという声があった。フォントの大きさに融通が利くとさらに使いやすいと思われる。